

ダニエル書 - ナンバー18

その時間

Jeff Pippenger

2023-12-13

靈感は、ダニエル書3章がアメリカ合衆国における日曜法を表していることを明確に示している。イザヤ書23章では、地の王たちと姦淫するツロの淫婦は、地の王たちと姦淫する黙示録の淫婦である。黙示録17章では、その淫婦の額には「大いなるバビロン」と記されている。

その女は紫と緋色に身を装い、金と宝石と真珠で飾り立て、手には金の杯を持っていたが、その杯は忌むべきものと彼女の淫行の汚れで満ちていた。また、その額には名が記されていた。「奥義、大いなるバビロン、淫婦どもと地の忌むべきものどもの母」。黙示録 17:4, 5

1950年以前、英語の辞書は、これら二つの節に描かれている女をローマ・カトリック教会であると正しく特定していた。538年から1798年にかけて行われたカトリックによる迫害の暗黒時代の後、全世界は、ローマ・カトリック教会が地の王たちと姦淫する淫婦であることを知っていた。独立宣言は、カトリックの支配と、その淫婦と不浄な関係を結んだ地上の王たちの支配をも拒絶するものとして意図された。イザヤ書第23章は、その淫婦が忘れ去られることを示している。神の言葉は決して失敗せず、神の言葉は彼女が忘れられると述べているのだから、現代のどんな検索エンジンでも、黙示録第17章の淫婦をカトリック教会だとする定義を見つけることは決してできないだろう。

その日には、ツロは王一代の年数に従って七十年の間、忘れられる。七十年の終わりに、ツロは娼婦のように歌うであろう。忘れられた娼婦よ、豎琴を手に取り、町をめぐれ。甘美な調べを奏で、多くの歌を歌い、思い起こされるようにせよ。七十年の終わりに、主がツロを顧み、彼女はその稼業に戻り、地の面にある世界のすべての王国と姦淫する。彼女の商いとその報酬は主への聖なるものとなり、それらは蓄えられたり、ため込まれたりしない。彼女の商いは、主の御前に住む者たちのために、十分に食べ、長持ちする衣服を得るためのものとなる。イザヤ書 23:15-18

神の御言葉は決して失敗しない。1798年以来、その淫婦は忘れられてきたが、終わりの日には彼女は思い起こされる。神の第七日の安息日が攻撃されるとき、彼女は思い起こされる。そしてそれは十戒の中で、常に覚えられるべきものとされてきた唯一の戒めである。彼女が自分の豎琴を手に取り、町を巡り歩き、甘美な調べと多くの歌を奏でるとき、彼女は思い起こされる。七十年の終わりに、すなわち一人の王の年月の終わりに、彼女は自分の歌を歌う。ダニエル書2章によれば、王とは王国のことである。

人の子らが住むところはどこであれ、野の獣も空の鳥も、彼はそれらをあなたの手に渡し、あなたをそれらすべての上に治める者とされた。あなたは金の頭である。ダニエル 2:38.

「頭」あるいは「王」は、いずれも王国の象徴である。「ひとりの王の日々」で表されている王国は、アメリカ合衆国である。1798年にバビロンの淫婦に致命的な傷が与えられたとき、アメリカ合衆国は地の獣として預言上の支配を開始した。それは聖書の預言における第六の王国として、日曜法に至るまで存続する。聖書の預言における文字通りの王国で、実際に七十年間支配したのはバビロンであった。

見よ、主は言われる。わたしは北のすべての諸族を遣わし、わたしのしもべであるバビロンの王ネブカドネツアルを呼び寄せ、彼らをこの地とその住民、またその周囲のすべての国々に向かわせ、それらをことごとく滅ぼし、驚きと嘲りの的とし、永遠の荒廃とする。さらに、わたしは彼らから、楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声、うすの音、ともしびの光を取り去る。この全地は荒れ果て、驚きの的となり、これらの国々は七十年の間バビロンの王に仕える。そして七十年が満ちるとき、わたしは彼らの不義のゆえに、バビロンの王とその国を罰し、カルデヤの地を永久の荒廃とする、と主は言われる。エレミヤ書 25章9-12節。

歴史上のバビロンは七十年間支配し、終わりの時に象徴的な七十年のあいだ支配する王国の型となった。バビロンの王ネブカドネツアルは、ユダを三度攻撃した。最初の攻撃はエホヤキムに対するもので、その時にエレミヤの預言の七十年が始まった。その七十年はベルシャツアルの死をもって終わった。そのとき神は、七十年の初めにエホヤキム王を罰したのと同じように、「バビロンの王」を罰された。「一人の王の日々」（一つの王国）、すなわち「七十年」として表されている預言上の王国はバビロンであり、ツロの娼婦が忘れ去られている間の象徴的な七十年のあいだ支配する聖書預言の王国は、黙示録13章の地から上って来る獣である。1798年における聖書預言の第五の王国から第六の王国への移行は、ヨハネが黙示録13章で示している真理の一部である。

そして私は海の砂の上に立ち、海から上って来る一匹の獣を見た。それは七つの頭と十本の角を持ち、その角には十の冠があり、その頭には冒涇の名が書かれていた。…
…また、私は地から上って来るもう一匹の獣を見た。それは小羊のように二本の角を持ち、竜のように語った。黙示録 13:1, 11。

黙示録13章でヨハネが立っていた海辺は、1798年を表しています。

「教皇権が力を奪われ、迫害をやめざるを得なくなった時、ヨハネは、竜の声に呼応して同じ残酷で冒涇的な働きを推し進める新しい勢力が台頭するのを見た。この勢力は、教会と神の律法に戦いを挑む最後の勢力であり、子羊のような角を持つ獣として表されている。それに先立つ獣は海から上って来たが、これは地から上って来た。それは、それが象徴する国家、すなわちアメリカ合衆国の平和的な台頭を表している。」 Signs of the Times, 1910年2月8日。

海からの獣は、海辺の砂によって地からの獣から隔てられていた。1798年（海辺）における聖書預言の第五の王国は過去の歴史を表し、第六の王国は未来の歴史を表していた。ミラー派はこの真理に気づかなかった。ウィリアム・ミラーは、異教の竜の権力と、カトリックの獣として表される次の王国との関係についての洞察を与えられていた。黙示録13章は、世界をハルマゲドンへ導く三つの勢力の第三である偽預言者の物語を開示する。物語は1798年の海辺から始まる。

アメリカ合衆国は小羊の象徴をもってその歴史を始めるが、竜のように語ってその歴史を終える。地からの獣の支配の象徴的な七十年間の歴史は、黙示録第十三章の一節に表されている。なぜなら、その節は同じ一文の中で地からの獣の始まりと終わりの両方を示しているからである。

また、私は地から上ってくるほかの獣を見た。それには子羊のような二本の角があり、竜のように語った。黙示録 13:11

アメリカ合衆国が竜のように語るとき、日曜法を制定する。アメリカ合衆国が日曜礼拝の強制を実施するに先立ち、プロテスタントの背教した諸教会は結集して、獣の像を形成しつつ、背教的な政府の政治的支配を握るだろう。靈感が（しかも繰り返し）ネブカドネザル王の金の像の奉献式が日曜法を象徴していると示すとき、それは地の獣の象徴的な七十年の終わりを示している。ダニエル書第1章から第3章は、黙示録第14章の三天使のメッセージを表している。第三の天使は、日曜法の時に生きた真理となる。

預言的に見れば、ダニエル書の第1章から第3章は、黙示録13章の地から上ってくる獣の象徴的な七十年を表している。第1章に示されている食物に関する試練とエホヤキムの象徴は、第1章が預言的に、第三の天使の歴史の中で、第一の天使が力を受ける時点、すなわち1840年8月11日か2001年9月11日に始まることを示している。

バビロンは七十年間支配した国であり、その七十年はアメリカ合衆国の歴史を表している。バビロンの七十年は、ネブカドネザルが金の像を奉献してからかなり後になるまで終わらなかった。しかし、預言的には、イザヤ書二十三章で用いられる象徴的な七十年は、ダニエル書三章で終わる。ネブカドネザルの楽団が奉献式のために音楽を奏するとき、獣の刻印が強制され、その時、ツロとバビロンの淫婦が地の王たちに向かって歌を歌い始め、背教のイスラエルはひれ伏して踊る。

王ネブカドネザルは金の像を作った。その高さは六十キュビト、幅は六キュビトで、彼はそれをバビロンの州のドウラの平原に立てた。ついで王ネブカドネザルは、諸侯、総督、長官、裁判官、会計官、顧問官、執行官、およびすべての州の支配者たちに、王ネブカドネザルが立てたその像の奉献式に来るよう召集を命じた。そこで諸侯、総督、長官、裁判官、会計官、顧問官、執行官、およびすべての州の支配者たちは、王ネブカドネザルが立てた像の奉献式に集められ、ネブカドネザルが立てたその像の前に立った。そのとき、伝令が大声で叫んだ。「諸民、諸国、諸言語の者たちよ、あなたたちが命じられている。角笛、笛、豎琴、サクバット、琴、ダルシマー、ならびにあらゆる種類の音楽の音を聞くときは、ひれ伏して、王ネブカドネザルが立てた金の像を拝め。ひれ伏して拝まない者は、同じその時に、燃える火の炉のただ中に投げ込まれるであろう。」それゆえ、その時、すべての民が角笛、笛、豎琴、サクバット、琴、ならびにあらゆる種類の音楽の音を聞いたとき、すべての民、諸国、諸言語の者たちはひれ伏して、王ネブカドネザルが立てた金の像を拝んだ。ダニエル書 3:1-7。

その「時」、あるいは同じ「時刻」——それはアメリカ合衆国における日曜令であるが——金の像を拝むことを拒む者は「燃える火の炉の真っ只中に投げ込まれる」。旧約聖書で「時」と訳される語を含むのは、ダニエル書だけである。第三章における「時」という

語は、獣の刻印の到来を表している。また、第四章における「時」という語は第一の天使のメッセージも表している。そこではそれが、神の裁きの「時」が来るというネブカドネザルへの警告を象徴しているからである。

そのとき、名をベルテシャツアルといったダニエルは、しばらくの間、驚き、思いに心を乱した。王は言った。「ベルテシャツアルよ、その夢もその解き明かしも、あなたを悩ませてはならない」。ベルテシャツアルは答えて言った。「わが主よ、その夢があなたを憎む者に、その解き明かしがあなたの敵に降りかかりますように」。ダニエル書 4:19

ダニエルは、神の裁きの時が近づいていることをネブカドネザルに警告したが、ネブカドネザルはのちにそれを退けた。第四章におけるこの「時」は、その章の中で再び用いられるとき、裁きが到来した「時」を表している。ミラー運動の歴史においては、第四章における最初の「時」は1798年の第一の天使の到来を表す。そのメッセージは、1844年10月22日に調査審判が開始されたときに成就した。第四章の「時」は、まず来たるべき裁きを告げるメッセージの象徴であり、その後、裁きが到来したことを示す象徴として用いられる。「時」という語の第一の用法は1798年、すなわち第一の天使の到来を表し、第二の用法は1844年10月22日、すなわち第三の天使の到来を表す。

その同じ時、その事はネブカドネザルに成就し、彼は人々の間から追い出され、牛のように草を食べ、彼の体は天の露に濡れ、髪の毛は鷲の羽のように伸び、爪は鳥の爪のようになった。ダニエル書 4:33.

したがって、ダニエル書第4章の「時」は、1798年と1844年の双方の象徴であり、これはイスラエルの北王国（紀元前723年に始まる）と南王国（紀元前677年に始まる）に対する「七つの時」の二つの呪いの終点を示している。離散と奴隷状態の二千五百年を表すこれら二つの呪いは、神の背教の民に対して神の最初の憤りと最後の憤りが執行されることを表している。これらはいずれも神の裁きから始まり、それぞれの終わりは、神の調査審判が差し迫っているという警告のメッセージ、あるいは調査審判の到来を表している。「七つの時」の二つの裁きの終わりによって示される両方の裁きは、ダニエル書第4章において「時」という語で表されている。

ミラー派の歴史において「時」は、1798年の終わりの時に第一の天使が到来したとき、すなわち運動の始まりを表し、第4章における二つ目の「時」は、1844年10月22日に第三の天使が到来したときの運動の終わりを表す。第一の天使のミラー派運動は第三の天使の運動において繰り返されるので、第4章にある二つの「時」は、1989年の終わりの時をも、また間もなく到来する日曜令をも示している。第一の天使のミラー派運動は調査審判の開始を告知し、第三の天使の運動は神の執行審判の開始を告げ知らせるが、それは段階的であり、日曜令において始まり、キリストの再臨に至るまで継続し、激化していく。

私たちはダニエル書3章の学びを続け、次の記事で「hour」という語の考察を締めくくります。

見よ、わたしはあなたがたを、狼の中にいる羊のように遣わす。それゆえ、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。だが、人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを評議会に引き渡し、自分たちの会堂でむち打つからである。さらに、わたしのた

めに、あなたがたは総督や王の前に引き出され、彼らや異邦人に対する証しとなる。しかし、彼らがあなたがたを引き渡すとき、何をどのように語ろうかと案じてはならない。まさにその時、語るべきことが与えられるからである。語るのはあなたがたではなく、あなたがたの父の霊が、あなたがたのうちで語るのである。兄弟は兄弟を、父は子を死に渡し、子どもたちは親に逆らって立ち、彼らを死に至らせるだろう。あなたがたはわたしの名のゆえに、すべての人に憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。この町で迫害されたときは、別の町へ逃げなさい。まことにあなたがたに言う。あなたがたがイスラエルの町々を回り終える前に、人の子は来るであろう。弟子は師にまさるものではなく、しもべは主人にまさるものではない。弟子は師のように、しもべは主人のようになれば、それで十分である。家の主人をベルゼブブと呼んだのなら、その家の者たちをなおさらそう呼ぶではないか。だから彼らを恐れるな。覆われていて現れないものはなく、隠されていて知られないものはないのだから。わたしが暗やみであなたがたに言うことは、明るみで語りなさい。耳で聞くことは、屋根の上で宣べ伝えなさい。体を殺しても、魂を殺すことのできない者たちを恐れてはならない。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。マタイによる福音書 10:16-28.